

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」小松校		
○保護者評価実施期間	R6年12月16日		～ R6年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	R6年12月16日		～ R6年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年1月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小松校の強みとして、小集団とその子の課題に合わせた個別支援が同時に行われていることがあげられます。社会参加を目標にハイブリッド型の支援を継続して行きたいと思います。	職員同志の申し送りの時間が、今は十分に取れておりそのことが支援内容の充実につながっている。	各種研修があり、職員が学ぶ機会が確保されていて、専門性がより高まることで手厚い支援に繋がると思われる。
2	地域のニーズに応える。個別療育、早期療育のニーズに応える為(早期療育の重要性をこども家庭庁も推進している為)小松校も午前中枠に児童発達支援の療育を行っていく方針を固めました。(R7.3月～)	個別支援や小集団支援の枠にとられず、子どもの個々の課題に気づく洞察力を磨くことでより充実した支援に繋がると思われる為、日々自分自身を見返ることを忘れないように職員一同が心がけている。	子どもたちの持つそれぞれの能力を最大限に引き出してあげられるよう、(苦手なことは克服しつつ)子どもに寄り添いながらより専門性を高めながら支援を行っていると思われる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小集団療育を行っている為、職員が一貫した支援を行っていないか、(連携は取れているが)果たして子ども一人一人の支援に完全にしっかりマッチしているかは少し疑問があると思われる。職員同志の連携を図ることが(考え方のずれもなくなるので)とても大切に思われる。	小集団療育においては、子ども一人一人の発達特性や発達段階を職員一同がしっかりと連携を図りながら理解していくことで、支援を行う上での感覚のずれが少しでもなくなると良いと思われる。	今後も継続して職員一同が連携を図りながら、一人一人の子どもを特性を理解して支援を行うことで、少しでも保護者の方々に安心感を持たれていただけるよう心がけていきたい。
2	小松校自体が古い建物なので、二階に上がる階段が急だったりする為、危険が伴っているということを忘れずに個別支援で二階に上がる時は注意を促していきたい。	現状は小松校の建物も古い為、個別支援を行う時は二階の階段を上がらないといけませんが、危険が伴うので注意を払って子どもを見守る必要があり、気を付けなければいけない。今後、いづれにしても移転も視野に入れている。	子どもの安全を第一に考えて、支援を行っていき、いづれにしても移転先を早急に見つけて改善を図る必要がある。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」小松校
------	-------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 21名

回収数 14名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	6	1	1	もう少しだけ広いと良いのかなと思いました。	少しでも広く使えるように環境を整えます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	2	平日などは何人の職員さんが居るか把握してないので、わかりません。	今後、保護者様からのご質問があれば平日に何人の職員が支援に携わっているかお答えしたいと思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	3	1	1	階段が急で災害時避難の際、危険である。	今後、小松校の移転の話もありますので保護者様にご安心できるようにご説明をさせていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	4	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	2	いつもいろいろな企画をしてくれて、楽しんで療育に繋がるように工夫してくれている。	今後も可能な限り、いろいろな企画のイベントを考えて、楽しく療育に繋がるような支援にしていきたいと思います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	4	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	2	4	2		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	0	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	0	3	保護者会はありますが、きょうだい児交流はしたことがないです。	きょうだい児交流を、実はしているのですが（なないるカフェイベントなど）なかなか認識されにくいようですので、今後はlineなどで配信したりして大々的にお伝えしていくことを考えております。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2	0	5	頻繁に訓練もしてくれていて、子どもも緊急時への認識が高まっていると思います。	今後も防災訓練を毎月一回のペースで行い、子どもたちに緊急時の対応を意識付けたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	2	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	2	0	0	子どもの特性を理解していただき、優しく対応していますので、高い安心感を持って利用させていただいています。	今後も子どもたちの特性や発達段階を職員一同で理解した上で、保護者様に高い安心感を持たれていただけるよう丁寧な支援を行いたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2	1	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1	0	0	様々なイベントを企画、開催していただき子どもや私へのフォローも厚く、とても信頼していますし、満足しております。	今後もで子どもたちや保護者の皆様からもご信頼していただけるように、職員一同 精一杯真心を込めて支援やイベントなど、いろいろなことを対応させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」小松校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			今後、個別支援が始まるにあたり、改善は必要だと思う。(本格的に)
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3		古い民家のため、階段が急など安全配慮が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		建物が古く、トイレなど毎日掃除をしても清潔に見えないところがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		2階では、完全に個別支援ができる環境なので、適切に思われる。	個別の部屋に限りがあり、状況に応じて足りないことがある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員同志の申し送りの時間が十分に取れており、支援内容の充実に繋がっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		各種研修があり、学ぶ機会が確保されている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		プログラムの作成時、5領域を含めたねらいを都度設定し、lineで保護者に通知している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		小松校は、小集団の支援がメインで行われているため、その子の課題に合わせて個別支援が行える、ハイブリッド式な支援ができています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		「きらりポイント」の活用で、こどもが自ら選択できるよう工夫している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		就学前に利用していた機関と情報共有を行う必要性が現利用児にないため。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		まだ該当者がいないため行っていないが、今後行っていく予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	公園の支援で出かけることで、関わりが持てるきっかけをつくっている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		放課後連の研修に参加している。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		定期的に親子・家庭参加でのイベント（職業体験、家族へのプレゼント作り、運動会など）を開いており、サポートする機会をつくっている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		親子、家庭参加イベントなどで交流する機会を設けている。きょうだいでイベント参加も必要に応じて行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		主にlineで配信している。イベントの様子は、インスタグラムに投稿している。ブログは今後、情報発信が定期的に行けると良い。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	外部の方を招いたり、そちらに赴いたりし、支援内でも地域の方と児童が触れ合う機会がある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		毎月行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		古くなった施設の備品は、安全性を優先して適宜新しいものに変えている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		毎月チェックリストを職員全員が行って振り返りの意識づけを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				